



盆踊りが復活  
8月15日(木) 桃川集落

盆踊りが約20年ぶりに復活しました。当日は、昔を思い出しながら踊る人、他人の見よう見まねで踊る人など約35人が大きな輪を作っていました。また、会場では焼き鳥や綿菓子、かき氷などが振る舞われるなど、子どもたちにとっても楽しい夜になりました。

### 子ども神輿で集落に笑顔を

8月26日(月) 下新保集落



毎年、集落の神楽にあわせて子ども神輿が行われています。小学生以下の子どもたちが神輿を担ぎ、約1時間半をかけて集落を練り歩きます。今年は約40人の子どもたちとその保護者が参加しました。集落PTAの島田和幸さんは「私が小学生の頃に始まった行事だと思えます。これからも続けてもらい、地域を元気にしてほしい。」と話していました。

### 伝統の獅子舞りを披露

8月27日(火) 福田集落



天候に恵まれたこの日、集落では伝統の三匹獅子舞りが披露されました。演目は「おかざき」「弓くぐり」「花すえ」の3つ。地元の小・中学生、高校生が伝統を引き継いでいます。獅子が訪れると、平日にも関わらず地域の人たちが集まって、獅子が舞う様子をにっこりと眺めていました。

# むらかみの話題

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

### ありのままの形で次世代へ

8月22日(木)・23日(金) 下鍛冶屋集落



あらかわ地区の獅子舞りのルーツとされる下鍛冶屋獅子舞り。この日は、三匹獅子による「火まつり」や「つぼやま」など、先人から受け継がれてきた伝統の舞りが披露されました。

上下鍛冶屋獅子舞保存会の富樫実行委員長は「地域の宝である獅子舞りをありのままの形で次世代へ継承していきたい。」と力強く話してくれました。



8月23日(金) 旧成田家住宅  
武家屋敷で夏を満喫

現代の子どもたちにも昔ながらの夏の楽しみ方を知ってもらおうと、郷土資料館(おしやぎり会館)が「武家屋敷で夏を楽しむ」というイベントを開催しました。会場を訪れた子どもたちは、射的やスイカ割りなどの遊びに大はしゃぎ。堀片在住の大滝春平くん(村上小3年)は、「とても楽しかった。」と笑顔で話してくれました。



「実りの秋？」  
8月29日(木) 荒川地区

荒川地区では、例年9月中旬頃から始まる稲刈りですが、今年は8月下旬から稲刈りをする様子が見られました。これは、飼料用米の極早生品種「新潟次郎」を作付けしたことによるもので、この日収穫していた農家の人は「こんなに早い稲刈りはこれまで経験したことがない」と話していました。

## 企業と連携して地域づくりを模索

8月27日(火)～29日(木) 交流の館「八幡」ほか



結婚式場やレストランなどを経営する企業によるCSR活動(※)が、今年も山北地区で行われました。今回は、農業体験やワークショップを通して企業と連携した地域づくりについて意見交換をしました。地域の産物を利用した新商品の開発が提案されるなど、充実した交換会となりました。

※CSR活動とは、企業が社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくための活動をいい、代表的なものに地域課題への取り組みや環境への取り組みなどがあります

## 研修の成果を報告しました

8月29日(木) 交流の館「八幡」



7月16日から観光や接客業などの研修をしていた台湾省実践大学の学生2人が、1か月半の研修を終え、その報告会が行われました。

研修を終えた李穎婷さんは、「地域の皆さんが温かく受け入れてくれてうれしかった。身のある研修ができました。」と感想を述べていました。

## 大切な命を失わないために

8月31日(土) 市民ふれあいセンター



自殺予防をテーマとした「第8回村上・岩船地域の医療を考えるフォーラム」が開催され、地域の現状や取り組みなどが報告されました。専門医による講演では、自殺の原因となるうつ病について、その特徴や早期発見のための留意点、発症後の対応などが分かりやすく伝えられ、参加者は真剣に聴き入っていました。



「いつ楽しむの?今でしょ!!!」  
9月7日(土) 朝日中学校体育祭

全校生徒273人が、青軍(各学年1組)、赤軍(同2組)、黄軍(同3組)に分かれて熱戦を繰り広げました。各軍とも、総合優勝を目指して夏休み前から3年生を中心に準備を進めてきました。生徒たちは「青春と真ん中汗と涙のShow time! いつ楽しむの?今でしょ!!!」という体育祭スローガンのとおり、全力で競技や応援に取り組み、学年を越えて一致団結する姿は観覧者に大きな感動を与えました。